

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors

タイトル：「アフリカに関する史的研究と資料」（平成 27 年度第 2 回研究会）

日時：平成 27 年 11 月 15 日（日）午後 2 時 00 分より 5 時 00 分

場所：東京外国語大学本郷サテライト 3 階

吉田早悠里(名古屋大学)

「エチオピア南西部における「差別」の形成史：文字・口承・身体所作テキストの分析から」

本発表では、エチオピア南西部カファ地方に暮らすマジョリティの農耕民カファと、かつて狩猟を主な生業としたマイノリティのマンジョの間の慣習的な忌避関係が基本的人権の概念や国家による権利保障と結びついた「差別」へと変化していった歴史的過程を明らかにするとともに、カファ地方の歴史をめぐる現状について、テキストの解釈という視点から論じた。

今日、カファとマンジョの関係は、政府や NGO、キリスト教会などによって人権を侵害する差別として問題視され、差別廃絶に向けた取り組みが実施されている。また、カファとマンジョの関係は、彼ら自身によって「カファによるマンジョへの差別が 100 年以上にわたって続いてきた」と語られ、マンジョが権利の保障を求めて請願活動を実施したり、カファを襲撃する事件を起こしたりしている。ただし、日常生活においては、カファとマンジョの間での共食や家への立ち入り、通婚がない一方で、カファがマンジョを「先住民」「土地の年長者」として畏敬の念をもって接するなど、差別として語るができない社会関係がみられる。

以上を踏まえ、本発表では、(a)カファ地方の歴史、(b)カファとマンジョが語る差別の歴史、(c)カファとマンジョの社会関係、を比較検討した。そこから、(b)のカファとマンジョが語る差別の歴史は、必ずしも(a)カファ地方の歴史や、(c)カファとマンジョの実際の社会関係とは一致しないことを明らかにした。その要因のひとつとして、国家、キリスト教会、NGO など多様なアクターの活動を通して、カファ社会に人権、平等、差別の概念がもたらされたことが挙げられる。これらの概念は、カファとマンジョの社会関係を大きく変化させるとともに、カファとマンジョ自身の歴史認識にも影響を及ぼし、両者の間での「差別」を生成、強化していることを明らかにした。

外部からもたらされた新たな概念が、カファとマンジョによる歴史に関する語りに影響を及ぼすという点は、人々の現在の意識や思考が、過去の歴史に対する眼差しに大きく作用し、さまざまな解釈を伴って新たな歴史を創出していることを示唆するものである。こ

れは、人々が語る口承の歴史を取り扱う際の問題点と課題をも示している。

従来、エチオピアにおける歴史研究は、文字資料が残されているエチオピア北部およびエチオピア帝国の歴史の解明に集中してきた。他方で、19世紀後半にエチオピア帝国に征服・編入された南西部の歴史研究は著しく立ち遅れ、同地に関する研究は文化人類学による同時代的な研究に偏ってきた。ただし、文化人類学による現地調査は、通時的視点から歴史を掘り下げようとする際には限界が否めないという課題も残されてきた。

本発表が対象としたカファ地方で話されているカファ語は、正書法が確立されたのが1990年代である。そのため、それ以前に文字化された一次資料がないこと、カファ王国の歴史や口頭伝承、文化を知る年配者の多くが既に他界していることから、カファの人々自身が、カファ地方の歴史や過去の文化を語る際に、研究者の著作や論文を含む出版物を参照せざるを得ない状況が生じている。

そこで、本発表では、カファ研究の基本的枠組みの形成に大きな貢献を果たし、カファ研究の第一人者として位置付けられるフリードリッヒ・ユリウス・ビーバーの研究成果を取り上げた。そして、フリードリッヒ・ユリウス・ビーバーがエチオピアにて収集した民族学的資料や、日記、書簡、草稿をはじめとした文書資料について紹介するとともに、これらの資料群の現状について報告した。また、フリードリッヒ・ユリウス・ビーバーの研究成果が、後進の研究者らの著作や論文といった著作物を通して、カファ社会に還流し、カファの人々に読まれ、彼らの歴史観やアイデンティティーに影響を及ぼすようになっていく現状について論じた。

以上を通して、本発表では、記述された資料／史料、人々の語り、行為を、文字・口承・身体所作テキストとして位置づけ、これらのテキストが、人々によってコンテキストや著者／行為者の意図とは異なる解釈を施されることで、新たな言説を生み出すと同時に、その言説が実体化していく過程について論じた。

参考文献

吉田早悠里 『誰が差別をつくるのか —エチオピアに生きるカファとマンジョの関係誌』
春風社、2014年。